

1、平成27年度東京都子供・子育て会議の回数について

平成27年度の子供・子育て会議の回数が合計2回では不足していると思います。子ども・子育て支援法の下での子育ては、歴史上初めてのことであり、不可測な問題に対応していく必要があるはずで、計画策定部会の回数が2回、全体会議は計画策定部会との合同で1回の回数では問題への細かな対応は不可能であり、会議は形骸化するように思います。

2、幼保連携型認定こども園部会の委員に都民公募委員等、利用者視点での委員の選任について

事業者、学識者のみでの委員構成では不十分であり、利用者の視点も反映されるべきであると思います。よって、都民公募委員の部会参加をお願いしたいと考えます。幼保連携型認定こども園の基準策定をする際には、特に高層階への設置など、この子供・子育て会議の中でも様々な意見がありました。その上で、部会長に一任して合意してきた経緯もあります。これからは決められた、基準の運用になるわけです。基準は注意深く運用され、より多くの立場の方の意見が反映されるべきであり、その中で利用者の意見は最重要であると考えます。

3、東京都子供・子育て支援総合計画（案）の理念と目標の不一致について

文言の精査をお願いします。加えて文言の意味が不明確な部分は、都民すべてがわかるような、わかりやすい言葉で簡潔に文書作成をお願いします。文言は下記表の太字に統一することを望みます。

【文言が一致しない】

理念での文言	目標での文言
教育	<b>教育・保育</b>
社会の一員として自立	社会人として自立
伸ばし（そもそも個性を伸ばすと言うだろうか...）	<b>発揮し</b>

【概念的で意味が不明確な言葉】

勤労観
職業観
保育所等

以上